

2019年12月14日(土)

参加者：親子12組(子ども16人) 教員:3名

栄養学部学生11名 院生6名 スタッフ:1名

内容：クリスマスケーキ作り

- ① 13:30 ~ 準備とお名前呼び
- ② 手洗い指導
- ③ ケーキ作り
- ④ 15:00 ~ ごちそうさまの挨拶・片付け



お名前呼びをしたよ(写真1)



説明を聞いてワクワク(写真2)



スポンジの型をぬいて(写真3)



包丁も使ったよ!(写真4)



生クリームの量を計って(写真5)



振って振って~(写真6)



ホイップを絞り出して(写真7)



飾っていくよ!(写真8)



ツリー型ケーキだ☆彡(写真9)



いろんな形ができた~☆  
(写真10)



おいしいね♪  
(写真11)



家族みんなで満足  
(写真12)



いっぱい遊んで  
おねむになっちゃった  
(写真13)



お見送りも楽しく!  
お兄さん姉さんにタッチ!(写真14)

栄養学部の太田先生と学生たちを中心に、衛生面の指導や食育を含めた『親子クリスマスケーキ作り』のイベントを行いました。昨年に引き続き3回目の実施です。

子どもたちは、エプロンと三角巾をつけて小さなパティシエに変身! 初めに手洗いの勉強し、栄養学部のお姉さんと一緒にゴシゴシとキレイに手を洗いました。スポンジが家族ごとに配られ、それぞれ好きな形に抜いていきます。ママと一緒に包丁にも挑戦! (写真3,4)。型抜き後は、ホイップクリーム作りです。生クリームを計量し、容器に入れるところから自分で頑張りました(写真5)。ホイップ用の容器をみんなでフリフリ♪(写真6) 容器を握る手のぬくもりや室温、振り方などにより、ホイップの出来上がりが違いましたが、それもまたいい経験! お父さん、お母さんに手伝ってもらいながら、それぞれ自由に飾り付けを楽しみました。ツリーやトナカイ型、バスや雪だるまなど、様々なケーキが出来上がりました。(写真10)。最後は、やっと、いただきます♪の時間! お父さん・お母さん、大学生のお兄さん・お姉さん、先生たちのあられる笑顔に囲まれながら、子どもたちは、自分で作ったケーキを口いっぱい頬張って夢中で食べていました。その子どもたちの満足げな笑顔のなんと愛らしいこと!

手作りの時間はいいものですね! これからも、色々な手作りにチャレンジしてね♪

## 2019年9月10日(火)

参加者：親子 15 組 (大人 15 人 子ども 17 人) S.S.W 部員 8 人

教員 1 人 保育士・スタッフ：4 人

内容：神戸学院大学文化会 S.S.W による人形劇

10:30 ~ 開演

- ・初めのあいさつ
- ・紙芝居 (おもちゃなんか大嫌い)
- ・ゲーム (アブラハム)
- ・人形劇 (おまつりせんたいわっしょい)
- ・終わりのあいさつ



あいさつ(写真 1)



紙芝居(写真 2)



みんなで見ていよ(写真 3)



アブラハム♪(写真 4)



マネしておどっちゃおう(写真 5)



人形劇(写真 6)



人形劇(写真 7)



楽しかった人~ は~い!(写真 8)



おわりの挨拶(写真 9)



トンネルくぐってバイバイ(写真 10)

神戸学院大学文化会 S.S.W による人形劇が行われました。大きな黒幕の舞台が設置されると、いつも遊んでいる部屋の雰囲気さがらりと変わり、人形劇がスタートです。初めにお兄さん・お姉さんが、見るときの約束やプログラムをゆっくりとした明るい声で、子どもたちにわかりやすく説明してくれました。子どもたちは、前をしっかりと向いて真剣に話を聞いていました。

初めは紙芝居。“おもちゃなんか大嫌い”というお話です。大きな紙芝居の舞台は額縁があることにより、注目する画面がわかりやすく、学生たちの声ははっきりと聞こえ、子どもたちは話に入り込んでいる様子でした。2 番目はゲームです。歌って踊って、ポーズを真似したりと、子どもたちが楽しく参加できるように工夫されていました。一緒に参加するお母さまたちも楽しそうな笑顔になっていました。

人形劇は、“おまつりせんたいわっしょい”という動物たちが夏祭りを悪者から守り、最後には悪者も一緒に祭りを楽しむというお話でした。場面により背景も変わり、音楽や声色で次々とメリハリ良く楽しい雰囲気づくりをしてくれました。子どもたちはキョトンとしながらも人形の動きを目で追っていました。楽しかったねと親子で話す声が、あちらこちらで聞かれました。

終わりのあいさつの後、お兄さん・お姉さんが作ってくれたアーチを嬉しそうにくぐって、笑顔でさよならの挨拶をして解散となりました。

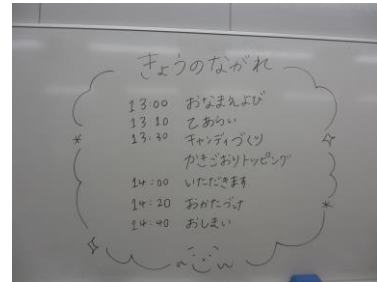
## 2019年7月6日(土)

参加者：親子 11 組（子ども 17 人） 教員:3 人

スタッフ：2 人 院生・栄養学部生：11 人

内容：かき氷作りと飴のステンドグラス作り

- ① 13:00 ~ 準備とお名前呼び
- ② 手洗い・食育（なかみはなあに？）
- ③ 飴のステンドグラス・かき氷作り



今日のプログラム



手をキレイに



型に粉砂糖を入れるよ



温めて飴がトロトロに



あれ？レンズがないぞ？



眼鏡の完成



かき氷を飾りつけ



何をのせようかな～



できた！



ん～おいっ！

栄養学部の学生たちを中心に衛生面の指導や飴のステンドグラス含めた『かき氷を作ろう！』イベントを行いました。

まずは手洗いです。指先・指の間・手首まで、しっかりと洗えるようにコツを教えてもらいました。早速、『飴のステンドグラス』作りをしました。粉砂糖を型に入れ、ホットプレートで温めます。子どもたちは、飴が温かいときにはトロトロで、冷たくなるとカチカチに固まるのを不思議そうに体験していました。あらかじめ栄養学部が作ってくれた眼鏡の形をしたクッキー。でもレンズがありません。子どもたちに粉砂糖を入れてもらい、オリジナルの眼鏡を作ってもらいました。左右で別の色を入れたり、色を混ぜてマーブルにしたりと、さまざまな眼鏡ができました！

かき氷のソースは栄養学部手作りの“キウイ”と“トマト”のソースです。トッピングは果物、自分たちで作った飴のステンドグラス、眼鏡クッキーです。飾りつけでは、自分の好きなものをたくさんのおいしそうなかき氷がたくさんできていました。子どもたちは「つめたい！」と言いながらも、にこにこ笑顔でかき氷をほおぼっていました。